

▼別シヨットの写真



今月の表紙は、9月30日に幸田中央公園で開催された小学校体育大会の女子100メートル決勝レースです。この種目で31年ぶりの新記録が生まれました。22ページで各種目の結果と記録、これまでの大会記録をご紹介しますので、ぜひご覧ください。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。
〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴グループ
☎62-1111(内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp

こたの民話

六栗の白ひげさん

六栗の中屋敷に、白ひげ社のあとがあります。この白ひげ社について、こんなお話が伝わっています。

ある年の夏のことでした。昨日も雨、今日も雨と、それはそれはよく雨が降り続き、田も畑も水びたしになってしまいました。

「ああ、早く雨が止まないかなあ。せっかく田植えをしたのに、これでは、米がとれなくなってしまう。」

と、人々は、1日も早く雨が上がるのを待っていました。うわさによると、菱池の向うの矢作川の水がさが、どんどん高くなっていくようです。心配でなりません。とつぜん、ジャンジャンジャンジャンと、半しようが鳴り、

「大変だあ。矢作川のてい防が切れたぞう。どんどん菱池に流れこんでるぞう。菱池の水かさもどんどん増えているぞう。逃げろ。一刻も早く逃げろ。高いところにひなんしろよう。」

という、火の見やぐらの人の叫び声がありました。村の人たちは、急いで、先を争うようにして、身一つで高いところへ逃げました。まんじりともせずその夜を過ごしました。ついうとうとしていた村の人の中に、ふしぎな夢を見た人がありました。

「おや白いひげの人が立っておられるぞ。

なんだこのおじいさん、雨にぬれて、びしょりじゃないか。村のお年寄りではないぞ。ふしぎなことだ。」

明るる朝、その人は昨日のふしぎな夢のことをみんなに話しました。ふしぎに思った村の人たちが、ようやく引きだした水の中を、中屋敷までやってきました。するとどうでしょう。茶色ににごった水の中に、そこだけきれいにすんでいるところがありました。見れば、水底からこんこんときれいな水がわき出しているではありませんか。そしてこの水は帯のようになって流れていました。その中を木で作った神様がこちらに流れて来られました。白い着物に白いひげ、夕べのふしぎな夢に出てきた人と同じです。

「これはこれはもったいないことだ。すぐにお移しなくては。」

村の人は、さっそく神様を拾いあげ、きれいな水で洗い清めました。そして、中屋敷の地に、お社を建ててお祭りしました。

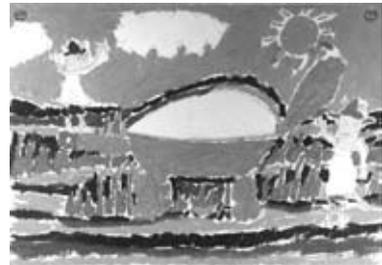
こうして祭られるようになった白ひげ社です。雨ごいの神様としても、れい験あらたかでした。日照りが続くと村の人々は白ひげ社に集まり、心から

「なむ、白ひげ大明神、雨降らせたまえ。」
というのと、必ず雨が降ったということです。

【こたの民話より】

みんなの作品展!

平成28年度 読書感想画展からのセレクトです



荻谷小2年 草次 郁海 くん



荻谷小4年 竹内 頼莉 くん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

「血が死ぬ」

11月15日は「七五三」。子どもの健やかな成長を祝う晴れの日、浮かれて足を打ったヒロインに沈着冷静なおはあちゃん……。
「あー、血が死んだだねー。ほんなん、元気な証拠だで」

「あれ、青あざになつたのね。そんなんの、元気な証拠だから」という意味です。

「血が死ぬ」とは、打ち身などで内出血を起して「青あざ」になることをいいますが、自前の辞書には出てきません。

そこで、インターネットで検索してみました。すると、「青あざ」の意味で、東日本から広く全国的に使われているのが「青たん」で、西日本では「青じみ」、「青しじ」、「青しん」といった方言も分布しているようなのです。肝心の「血が死ぬ」ですが、驚くことに、この地方とその周辺ぐらいいしか使われていないようで、「血が死ぬ」なんて恐ろしいと、逆に驚かれました。

でも、この地方の「血が死ぬ」によく似た、「血がしむ」という地方もあるようですので、「青じみ」、「青じみ」、「青しん」、「青しん」に「血が死ぬ」、「血がしむ」、「どれも関係がありそうですが、これ以上の詮索は、鶏が先か卵が先か、よしまししょう。」

(文・つゆみ)

おたのしみ



青春トークリレー

△△第284走者△△

わかばやし こうへい
若林 耕平さん

芦谷区在住 20歳
血液型 O型 身長 170cm
好きなタイプ 明るい人
好きな芸能人 岡田准一

私は、現在大学に通っています。大学では燃費性能の極限を目指すサークルに入っています。年に数回開催される大会に出てデータを取り、燃費を改善するための方法について研究しています。いろいろなことを試したり、挑戦していけたらいいなと思っています。

将来のことはまだ漠然としていますが、大学生活の中で見つけていきたいと考えています。今は、旅行やサークル活動、アルバイトなどやりたいことがいっぱいです。大学生活を悔いのないように過ごしたいと思っています。

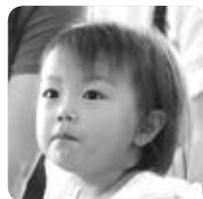


そして、芸術の秋ということで、来月号では小中学校音楽会などの様子をお届けする予定です。今年はハッピーネス・ヒル・幸田20周年ということで、こちらのイベントも盛り沢山です。11月27日には町民会館さくらホールで「第九 in 幸田」が開催されます。幸田町出身のプロの音楽家も出演される予定ですのでぜひお出掛けください。(K)



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。企画政策課までご連絡ください。本人のご家族にお渡しできます。



「この夏の終わりに、プール遊びを頑張った子どもたちに、白いTシャツをプレゼントしました。そして、そのTシャツを絞り染めして、運動会で着ることになりました。」
自分でどんな模様にしたか考え、子ども自身の手で、子どもたちの出来る方法で縛っていくことになりました。「水玉もよう」「大きな丸」など、思い思いの模様をイメージし

わんぱくだより
「某月某日
〜里保育園」

「すてきに染まったよ！」

て、輪ゴムやタコ糸、ビーズなどを使って縛っていました。縛ったものを染粉と塩が入ったお湯の中に入れて、くっくつと煮ること50分。すると、白かったTシャツがどんどんクラスごとの色であるオレンジや青に染まっていきました。染め



上がったTシャツの絞り糸を自分ですすす時には「わくわく、どきどき感」でいっぱい！お互いに見せ合い、楽しい時間となりました。自分で作った、とてもすてきな「世界で一つだけの絞り染めTシャツ」が出来上がりました！



ちゅうど 編集者のひゅりゅん

こんにちは。先日、取材に訪れた保育園で「誰かのお父さん、それともおじいちゃん？」と園児から聞かれ、シヨックから立ちなおれない編集者のKです。

スポーツの秋ということで、小学校体育大会へ取材でお邪魔してきました。大会は雨によるグラウンドコンディション不良のため、翌日に順延され、出場する選手たちのコンディションも心配されましたが、31年ぶりに女子100メートルで新記録が誕生、さらに1000メートル男子・女子の両方でも新記録が生まれ、新記録ラッシュで盛り上がった大会となりました。自分も小学生時代に1000メートルの補欠選手で会場には行ったなと懐かしい思い出が。大会結果の一覧と大会記録を今月号の22ページで紹介しています。